

## 教育センター

センター長 福島 統

教授：福島 統 医学教育学  
教授：尾上 尚志 医学教育学  
准教授：中村真理子 医学教育学  
講師：岡崎 史子 医学教育学

### 教育・研究概要

平成 11 年 4 月に教学委員長を室長に医学教育研究室が学事部学務課内に設置され、平成 14 年 4 月には初年次教育の拡充のために、国領校に医学教育研究室国領分室が設置された。平成 17 年 10 月に教育センターが設置され、その中に医学教育研究室、看護教育研究室、卒後教育支援室、教育開発室が置かれ、平成 18 年 4 月には教育センター事務室が設置され、教育センターとして本格的な活動が開始された。福島 統が平成 19 年 4 月に教育センター長に就任し、平成 22 年 4 月、平成 25 年 4 月に再任された。教育センターは、平成 22 年 4 月に C 棟 7 階に移動し、シミュレーション教育施設および e-Learning 施設の管理運営も行っている。平成 25 年 9 月 1 日に東京慈恵会医科大学教育センター規程が改定され、教育センター内に医師キャリアサポート部門（部門長：福島 統）、看護キャリアサポート部門（部門長：奈良京子）、シミュレーション教育部門（部門長：尾上尚志）、地域医療支援部門（部門長：松島雅人）、教育 IR 部門（部門長：中村真理子）が設置された。医師キャリアサポート部門には、医学教育研究室（室長：木村直史）と教育開発室（室長：福島 統）がある。

1. 平成 24 年度文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成 (B) グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実」事業で「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」（事業責任者：宇都宮一典教授）を行っている。岡崎講師と尾上教授は平成 27 年度から開始される臨床実習カリキュラムの準備に当たった。

2. 平成 24 年度文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成 (C) 医学・歯学教育認証制度等の実施」事業で「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」（申請

大学：東京医科歯科大学）を連携校として活動している。本取組の中で、中村准教授がアメリカ医科大学協会での質保証の活動を調査した。平成 25 年度から第三者評価のトライアルが開始された。平成 25 年度は福島センター長が 12 月の新潟大学医学部第三者評価の副査、1 月の東京医科歯科大学第三者評価の主査として参加した。平成 26 年度は中村准教授が 6 月の千葉大学医学部第三者評価に、福島センター長が 2 月の東京大学医学部第三者評価に外部評価者として参加した。本学も第三者評価を平成 26 年 6 月に受審した。本学での外部評価の経験を中村准教授が 2 月の本補助金の公開シンポジウムで発表した。教育の質保証に関しては中村准教授が成医会の宿題報告で「卒業生アンケートによる東京慈恵会医科大学の教育質保証についての考察」を発表し、東京慈恵会医科大学雑誌に掲載された。

3. 平成 25 年度文部科学省研究拠点形成費等補助金「先進的医療イノベーション人材養成」事業で「卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発」（事業推進責任者：大野岩男教授）が採択された。本取組の中で中村准教授は、5 月に英国キングス大学医学部を訪問し、GP への Teacher Training プログラムや、GP 実習を行っている医学生への聞き取り調査、さらには GP が参加する低学年でのコミュニケーション授業などに参加した。また同時期に行われていた卒業時 OSCE の視察も行った。卒業時 OSCE では大学教育だけでなく多くの GP が評価者として OSCE に参加していた。平成 27 年度から開始する 3 年次「高齢者医療体験実習」のための実習先として介護老人保健施設の確保を行った。

4. 看護キャリアサポートセンターは、奈良京子部門長を担当として、1) エデュケーショナルナース研修、2) 看護監督者研修、3) 看護管理者研修などの看護学教育プログラムを実施した。

5. 医学教育振興財団主催「医学教育指導者フォーラム」と文部科学省主催「医学・歯学教育指導者ワークショップ」を支援した。フォーラムでは、医学教育におけるパフォーマンス評価を主題とし、英国での卒前医学教育、卒後臨床研修におけるパフォーマンス評価と医学部卒業時での客観的臨床能力試験

(OSCE)の講演を組んだ。ワークショップでは、1) 臨床実習の改善・充実、2) 卒業時までの段階的な臨床能力の評価、3) 卒業時アウトカムの作成、4) 統合教育のあり方・実践、5) 分野別評価を通じたPDCAサイクルの確立をテーマに取り上げ、福島センター長がグループワークの趣旨説明を行った。

6. Medical regulationの国際会議に出席した。2年ごとに開催されるMedical regulationの国際会議が今年度は英国ロンドンで開催された(11th International Conference on Medical Regulation, 10 September 2014, London, U.K.)。福島センター長が出席し、Experiences in Japan: Workshop on experiences of Asia Pacific countries on the healthcare professional regulationと題し、日本でのMedical regulationについて発表した。

7. 文部科学省委託事業平成26年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業に福島センター長が参加した。医学教育の質保証の活動を、専門学校の質保証に活かす活動で、今年度はこの事業で事業実施委員会委員と第三者評価システム部会長として活動した。

8. 学外での医学教育関係講演：1) 奈良県立医大、2) 昭和大学、3) IMS 医療安全管理者講習会、4) 石川県看護教員現認研修会、5) 札幌医科大学、6) 兵庫医科大学、7) 川崎医科大学、8) 東京医科歯科大学、9) 兵庫医科大学病院、10) 厚生労働大臣指定理学療法士・作業療法士・言語療法士養成施設等教員講習会、11) 厚生労働大臣指定柔道整復師養成施設等専科教員講習会、12) 豊島区医師会、13) 大東北文化学園大学、14) 都立南多摩看護専門学校、15) 兵庫医科大学、16) 東邦大学大学院医学研究科博士課程、17) 大東文化大学法科大学院(以上、福島センター長)、18) 福島県立医科大学、19) 昭和大学SD研修会(以上、中村准教授)。

### 〔点検・評価〕

教育センターでは、1) 医学教育・臨床研修支援、2) 看護キャリアサポートセンター業務、3) シミュレーション教育施設運営管理、4) e-Learningの設備管理と運営、5) 教育IR活動、そして、6) 競争的教育補助金の獲得を中心に活動を行っている。研究もこの活動に沿った内容で行っている。シミュレーション教育施設はその使用頻度が年々増加し、さらに使用機材は高機能になってきている。教育センターの役割が拡大しつつある。昨年度発足した教育IR部門が継続的に活動するためには、データ収集などの実作業を担う事務職員が必要となっている。

教育センター業務は研究よりも教育実践と内部質保証に重きを置いている。これらの業務は教職協働で行うものであり、今後、教育センターの事務組織の実質化が求められる。

## 研究業績

### I. 原著論文

- 1) 福島 統. 巻頭言：医学教育分野別質保証とは. 医学振興 2014; 79: 2-5.
- 2) 福島 統. 【ファルマシア創刊50年記念】50年後の薬学 薬学教育の将来 医療者教育. ファルマシア 2014; 50(12): 1234-6.

### III. 学会発表

- 1) 奈良信雄, 吉岡俊正, 中村真理子. 医学教育質保証について. 平成26年度医学・歯学教育指導者のためのワークショップ. 東京, 7月.
- 2) 中村真理子. 東京慈恵会医科大学におけるIRの取り組みについて. 医療系学教職員のためのSD研修会. 東京, 12月.
- 3) 中村真理子. 東京慈恵会医科大学におけるトライアル認証評価の経験. 平成26年度文部科学省大学改革推進事業(基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成)公開シンポジウム「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」-医学教育認証評価制度発足に向けて-. 東京, 2月.
- 4) 中村真理子. 医学教育アウトカムの構築について～慈恵医大での自己点検評価の経験から. 福島県立医科大学平成26年度医学教育ワークショップ. 福島, 9月.
- 5) 福島 統, 澤 智博(帝京大), 岡田美保子(川崎医療福祉大). (共同企画7) 医学教育と医療情報額について考える～医学教育の質保証と医療情報学専門医制度の紹介を通して～. 第34回医療情報学連合大会. 千葉, 11月.
- 6) Fukushima O. (Workshop: Experiences of Asia Pacific countries on the healthcare professional regulation) Experience in Japan. 11th International Conference on Medical Regulation. London, Sept.
- 7) Suzuki T (Niigata Univ), Kitamura K (Univ of Tokyo), Tanabe M (Chiba Univ), Yoshioka T (Tokyo Women's Medical Univ), Fukushima O, Nara N (Tokyo Medical and Dental Univ). First trial of accreditation for medical education using WFME global Standards 2012 in Japan. AMEE 2014. Milano, Sept.
- 8) 福島 統, 北村 聖(東京大). (シンポジウム1: 分野別質保証, 新専門医制度を踏まえた医学教育の潮流) 座長. 第46回日本医学教育学会大会. 和歌山, 7月.

## V. その他

- 1) 福島 統, 宇都宮一典, 柳澤裕之, 川村哲也, 中村真理子. 特集1: 座談会 平成26年度自己点検評価の外部評価を受けて-医学教育の国際基準に対する大学の対応-. THE JIKEI 2015; 24: 2-10.
- 2) 福島 統. 特集2: 医学教育の質保証の考え方. THE JIKEI 2015; 24: 11-4.
- 3) 福島 統. 「話題の医学」TV番組: 医学教育 最近の話題-医学教育の質保証- (MSD Connect). 2014.11.2.
- 4) 福島 統. 朝日新聞×河合塾 共同調査「ひらく日本の大学」第9回: 大学の国際化 大学の取り組み: 東京慈恵会医科大学 医学教育の国際基準に合わせ学内に内部質保証の仕組みを構築. Kawaijuku Guide-line 2014; 4・5月号: 42-3.
- 5) 福島 統. 書評「死なせてもらえない国・日本」. 医教育 2015; 46(1): 117.